

2013年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	生物環境化学科						
科目名	理科教育法Ⅱ						
科目区分	教職科目	単位数	2	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	必修科目(バイオサイエンスコース)/必修科目(食品生物資源コース)/必修科目(エネルギー・環境コース)						
担当者	西田 哲明						
授業の到達目標(シラバスから)	1. プロの教師として楽しい理科の授業を進めることができる。 2. 理科教育のカリキュラムづくりや適切な教材を選ぶことができる。 3. 環境問題やものづくり、ITなどについて指導することができる。 4. 模擬授業を通して教えることの楽しさと難しさを体験することができる。						
日程と内容	9/18 導入、授業形態、成績評価など 9/25 理科カリキュラムの歴史。カリキュラムとは 10/2 国定教科書 10/09 系統的理科教育。「いかに教えるか」から「何をどのように教えるか」へ 10/16 模擬授業 10/23 学校教育改革と教育課程の再編。ゆとり教育と理科離れ 10/30 理科のカリキュラムづくり。現状と問題点 11/6 教材と教育内容(中間試験含む) 11/13 授業計画。実験・観察の位置づけ 11/20 模擬授業 11/27 理科の実験指導 12/4 ものづくり 12/11 環境教育 12/18 情報教育 1/15 理科授業における安全管理と危険防止 1/22 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%			
	臨時試験	30%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	0%	計	100%			
授業到達目標の達成度	概ね初期の目標を達成することができた。						
反省点	授業中に寝ている学生がいた。教職の授業で学生が寝ているのを見たのは過去8年間で初めての経験であった。						
来年度の計画	受講者全員が総合評価10点以上を付けるような「満足度の高い授業」を目指したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	アンケートに答えてくれた18名の総合評価(10点満点)の平均は8.9であった。うち39%(7名)が10点、44%(8名)が9点、残りが8点(1名)、7点(1名)、3点(1名)であった。個別の設問項目においても、多くの項目について4.4以上(5段階評価)であった。						
履修登録者数	18名	定期試験受験者数	18名	合格者数	18名	合格率	100%